

令和6年10月吉日

一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会
会員企業様 各位

一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会
副会長兼医薬品登録販売者委員長 関 伸治

「医薬品情報提供 声かけ強化キャンペーン」のお願い

いつも協会活動にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、ドラッグストア業界では、一般用医薬品を必要とする人々が安心して使用できるよう店舗に専門家を配置し、直接の情報提供や相談応需に努めてきました。

一方、社会のオンライン化が進展する中で、医薬品に関する情報提供などもオンラインで十分ではないかとの意見が出てくるようになりました。

このような状況の中、ドラッグストアにとって今大切なことは、あらためて消費者に「情報提供や相談応需」をアピールしていくことです。

そのためには、それぞれのドラッグストアが店舗での情報提供をもれなく実施していくことが必要です。直接の対面販売がオンライン販売に比べていかに優れているかを消費者に対し目に見える形で示し、理解していただくことが必要です。また、近年問題になっているOTC医薬品の濫用防止にもつながります。

協会では医薬品登録販売者委員会が中心になって「医薬品情報提供 声かけ強化キャンペーン」を実施しております。実施内容は別紙要領のとおりです。難しいことはありません。店頭やレジ精算時に「お薬の購入や使用でお聞きになりたいことはありませんか」の一言をお客様にかけるものです。

会員企業の皆様には、趣旨にご賛同いただき、店長会議などを通じすべての店舗で実践していただきたく、お願い申し上げます。

ドラッグストアの安心と信頼の一層の向上のための取組みです。ドラッグストアのさらなる発展のため、ご協力をお願いする次第です。